

参考様式 1

## 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要（変更）

計画主体名	計画期間
しずおかけん 静岡県  まつざきちょう 松崎町	H19～H22

< 連絡先 >

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
静岡県建設部農地局農地整備室	054 - 221 - 2589	054 - 221 - 2809	nouchiseibi@pref.shizuoka.lg.jp
松崎町産業建設課	0558 - 42 - 3965	0558 - 42 - 3183	kensetsu@town.matsuzaki.shizuoka.jp

### 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標		増加率等の算出
	増加率等	
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保（南郷地区）	5.4 ha	計画区域内の農業用排水施設等の機能確保（ha） 計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積（ha）= 5.4 ha
事業活用活性化計画目標の設定根拠		
<p>計画地区の農業経営は、水稲単作で経営効率も悪く、耕地が入り組み機械化に支障を来している。また、農道や用排水路の整備が遅れているため、維持管理労力が増大している。更には、農業従事者の高齢化、担い手の不足に伴い遊休農地の拡大等の課題が発生している。</p> <p>農業用基盤施設の整備により、条件整備され機能が確保された農地が増加することによって効率の良い作業形態を確立し、農業生産性、農業所得の向上や遊休農地の解消を図り、農業従事者の意欲を上げて安定した営農の継続により定住等の促進に資する。</p>		
事業活用活性化計画目標		増加率等の算出
	増加率等	
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保（雲見地区）	26.3 ha	計画区域内の農業用排水施設等の機能確保（ha） 計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積（ha）= 26.3 ha
事業活用活性化計画目標の設定根拠		
<p>計画地区の農業経営は、柑橘類を主としており、町内でも比較的広範な樹園地地域である。しかしながら、生産物輸送等に通行している基幹農道は狭小であり、効率よく安全な輸送に支障を来しており、農業従事者の高齢化、担い手不足に伴い遊休農地の拡大等の課題が発生している。</p> <p>農業用基盤施設の整備により、条件整備され機能が確保された農地が増加することによって効率の良い作業形態を確立し、農業生産性、農業所得の向上や遊休農地の解消を図り、農業従事者の意欲を上げて安定した営農の継続により定住等の促進に資する。</p>		

(交付対象事業別概要)

## 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金 要望額 (千円)	交付額 算定 交付率	交付限 度額 (千円)	活性化計画の目標及び 定量的目標との関連性
農業用 用排水施設	南郷	取水、排水施設を整備することにより、営農条件の改善に資する。	用水路 L=459m 排水路 L=563m	H19～H21	松崎町	48,039	26,422	55%	26,422	南郷地区は、目標として掲げる定住促進を図るため、農業用排水施設の整備により条件整備され機能が確保された農地5.4haの増加と遊休農地の減少を図る。
農業用道路	南郷	農業用道路を整備することにより、営農条件の改善に資する。	L=561m W=4.0m	H19～H21	松崎町	17,209	9,465	55%	9,465	南郷地区は、目標として掲げる定住促進を図るため、農道の整備により営農条件が改善された農地5.4haの増加と遊休農地の減少を図る。
区画整理	南郷	区画整理を行うことにより、営農条件の改善に資する。	A=2.1ha 農道 L=228m W=4.0m 農業用排水施設 L=470m	H19～H21	松崎町	27,752	15,263	55%	15,263	南郷地区は、目標として掲げる定住促進を図るため、農地2.1haを区画整理することにより機械化の促進などによる維持管理経費の節減を図り営農意欲向上と遊休農地の減少、水稲単作経営から裏作作物の導入等を図る。
農業用道路	雲見	農業用道路を整備することにより、営農条件の改善に資する。	L=798m W=5.0m	H20～H22	松崎町	201,000	110,550	55%	110,550	雲見地区は、目標として掲げる定住促進を図るため、農道の整備により営農条件が改善された農地26.3haの増加と遊休農地の減少を図る。
農山漁村活性化 施設整備附帯事業	雲見	農山漁村活性化施設整備附帯事業による保全活動の支援を行い、事業の円滑な推進に資する。	特産品の研究開発、マーケティング調査、研修会開催、棚田体験活動等	H22	松崎町	4,000	2,000	50%	2,000	雲見地区は、目標として掲げる定住促進を図るため、地域保全活動への支援を行い、農道の必要性を周知し、地域の合意形成・理解を図ることとする。
合 計						298,000	163,700	50～55%	163,700	

優先枠を活用する事業に関する事項

(交付対象事業別概要)

優先枠の種類	優先枠指標	増加率等の算出	
		増加率等	
1 輸 出 2 再チャレ		%	
優先枠指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	
		<b>該 当 な し</b>	
優先枠の種類	優先枠指標		
1 輸 出 2 再チャレ		%	
優先枠指標の設定根拠			
事業メニュー名	地区名	事業内容と優先枠指標との関連性	



